

地区高校総体 優勝

～ 楯岡高校時代から12連覇 ～

5月14日(土)新庄南高校で行われた地区総体。楯岡高校から4月に東桜学館高校に開校されての初公式戦。一年生4名の入部により12名の部員が一丸となって戦い、楯岡高校から続けてきた連覇を12に伸ばし、東桜学館高校ソフトボール部の新たな歴史を刻みました。



「12連覇がかかった地区大会なので数週間前から緊張していました。当日は、投手が良く、テンポよく守ることが出来ました。全員で一つのことに集中し、強い気持ちで守れたことが勝因だと思います。県大会まで全員の息をもっと合わせていきたいです。」

「最後の地区総体で今までの総体よりも緊張が大きく、不安がありました。試合では、パスボール0を目標にして、悔しさを残らないようにプレーをしようと思いました。バッティングではもっと、引きつけて打っていけるようにしていきたいです。県大会までにピッチャーと話して、うまくコース分けをしてリードして、日々の練習を大切にしていきたいです。」



「新北戦では1つ1つのプレーをよく見ながらプレーをすることが出来た。攻撃では、叩きつけて、なるべくバウンドさせ繋ぐバッティングをしました。新南戦では、ポジション間を抜くように意識してバッティングをしました。三塁打を打つことができ、今までの地区総体で一番納得する打撃でした。」

「今回の大会では意識することを自分で決めて臨みました。ピッチングでは、“イメージ”“リリース”“最後の手”をきちんと意識して投げ切れて良かったです。ただ、左足が右足寄りになるので、まっすぐ踏み出せるようにしていき、右打者のアウトコースにもっと投げられるようにしていきたいです。」



「今回の大会では、無事に連覇を達成することが出来て本当に良かったです。でもバッティングで1つもボールをミートすることが出来ませんでした。全部ボテボテのゴロを打ってしまったので県大会までに直していきたいです。速いボールでも遅いボールでもタイミングが合わせられるようにしていきたいです。県大会では、もっと声を出して1つでも多く勝てるように頑張りにしたいです。」

「連覇を達成することが出来て本当に良かったです。全員で声を出して自分たちの流れを作ることが出来ました。でも一試合目で自分のエラーのせいで相手の1点につなげてしまいました。練習の時でも自分はミスが多くゴロを待って捕ってしまいます。県大会までにエラーをなくすためにももっと前に出ていきたいです。バッティングでは、しっかりとミートして間を抜き、点数につなげることが出来て良かったです。県大会では、地区大会以上に声を出して自分たちの流れを作っていけるようにしたいです。」

「前日にスパイクの刃を変えようとして、当日にまで影響が出てしまったのももっと早く道具の準備をしたいと思います。無失点4回コールドを目標にしていつも以上に集中していました。でも守備もバッティングも思うようにいかなくて、失点してしまいすごく悔しかったです。いつもは捕れるようなフライが捕れずにそれが失点につながってしまったので本当に悔しかったです。それでもチームみんなのおかげでどちらもコールド勝ちが出来ました。県大会では、チームの足を引っ張らないようにチームに貢献できるようなプレーをしていきたいです。」



「今回は緊張が凄くて、2試合とも良いプレーが出来ず、悔しい試合となりました。守備では、新北戦でボテボテのゴロを半端なバウンドで捕ろうとしてしまって、点を入れられたのですごく悔しかったです。また、三遊間を抜かれてしまったので一球一球集中して、一歩目を速くしたいです。打撃では、2番バッターの役割を果たすことが出来なくて、平凡なフライを上げてしまって、二番バッターとして相手を揺さぶるようなバッティングや小技を使っていきたいです。県大会までにスラップも完成させたいです。」

「今回の大会では、大きなミスをする事がなかったので良かったと思いました。しかし前に出てゴロを捕らなければならない所を待ってしまったり、引いてしまったりしたので、一歩目の反応を速くしたり、判断を速くして、前でボールを捕るようにしたいです。守備では、ランナーが出るとベース寄りになってしまいバッターが打つ前に動き出してしまったので、動きが早くなると狙われやすくなるので、ランナーの動きだけでなく、打者の動きも見ながら動いていきたいです。打撃では、3ボールになった次の球を簡単に見逃すのではなく、積極的に振っていけるようにしたい。」



「土曜日は、とても快晴で気持ちがいい中試合に臨むことができました。一打席だけチャンスをいただきました。初めての公式戦での打席でした。2アウト満塁でとても緊張した場面での打席で私は、固まってしまう、自分の力を発揮することが出来ませんでした。次こそは、ヒットを打てるように日頃から練習を怠らないようにしたいです。先輩が本当にカッコよかったです。私もそんな先輩のようになり、早く追いつけるようにしたいです。」

「声を出してベンチを盛り上げた。代打に出て1球目の甘い球を打ってランナーを進められた。県大会まで強い打球を打ち。自分も塁に出て1点でも多く取れる様に頑張ります。」

「公式の大会は、白鷹町での試合しか経験したことがなかったので少し緊張気味でした。でも先輩方は、もっと緊張をしていたと思います。そんな中でフライをキャッチしたり、二ベース、三ベースを打ったりしていた所を見てかっこいいなと思いました。だんだんスコアを書くことにも慣れてきました。先生などに聞いたりしながらあやふやな部分もしっかりと覚えていきたいです。あと、新人戦までにルールをしっかり覚えることとキャッチボールをできるようにします。」



東桜学館ソフトボール部の公式戦 初優勝！
一球感動をありがとう！